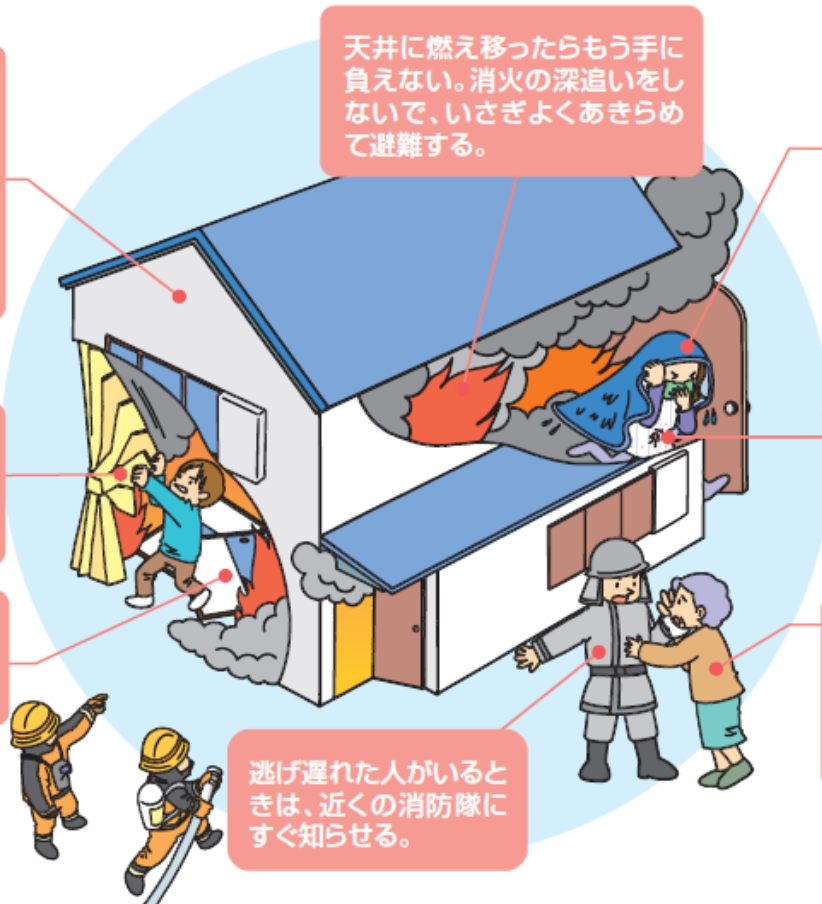


# 火災

# 火災防止にむけて

大切な財産や時には命までもうばってしまう火災。その原因のほとんどが不注意によるものです。あなたの生活習慣を見直して、防火意識の高い新しい習慣を身につけましょう。



「火事だ～」の声を聞いたらすぐ119番通報。誰かが通報しているだろうと考えず、重複しても良いからとっさにダイヤルを。

天井に燃え移ったらもう手に負えない。消火の深追いをしないで、いさぎよくあきらめて避難する。

煙の中を逃げるときはできるだけ姿勢を低くして。ぬれタオルで口をおおうなどして煙をさける。  
ぬらしたタオルなどで顔や体をおおう。炎の中は一気に走りぬける。

カーテンは力いっぱいひきずりおろし、天井へ移らないようにする。

服装や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難する。

ふすまや障子戸は思いきりけり倒し、低い位置で消火。

避難は、お年寄り、子供、病人を最優先。  
いったん外へ逃げたら再び中には戻らない。

逃げ遅れた人がいるときは、近くの消防隊にすぐ知らせる。

## 火災 安全対策 9ヶ条



**1 ストープの周辺はすっきりと**  
特にカーテン、洗濯物には要注意。石油ストープの給油、移動は必ず火を消してから。



**2 揚げ物のときはその場を離れない**  
電話や来客の対応は、必ず火を消してから。そばに燃えやすいものを置かない心掛けも。



**3 寝たばこ、ポイ捨て厳禁**  
寝たばこは、しない、させない習慣を。火のついたたばこの放置やポイ捨ても厳禁。



**4 放火をさせない環境づくり**  
家の周りに燃えやすいものを置かない。物置、車庫などのカギはしっかりと。



**5 強風の日のたき火は危険**  
消火用の水を用意して。子供だけでたき火をさせない。風のある日のたき火は中止。



**6 マッチやライターの放置に注意**  
子どもが遊んだりして危険です。日頃から片づける習慣と、子どもへのしつけをしっかりと。



**7 風呂の空だきをしない**  
点火のときは浴そうの水量を確かめて。点火、消火は目で確認。



**8 コンセントにこまめな気使い**  
たこ足配線、コンセントまわりのホコリに注意。使わない時は、こまめに抜く。



**9 就寝前の火の用心**  
ガスの元栓、コタツのコンセントなど指さし点検で火の元確認。